

商工政策審議会委員 新指針への意見反映状況

資料3

●区分表示： 新反映⇒「委員意見を新たに反映」 反映⇒「委員意見を骨子案段階で既に反映済」 その他⇒「記載はないが対応を図る」

委員意見	意見者	区分	頁	項目	反映内容
<b>指針1 中小企業の経営力強化と創業の促進</b>					
北関東の企業が東京への足掛かりとして豊島区は注目される。オフィス需要への支援が必要ではないか。	阿部委員	反映	15	第3章 3-(1)豊島区 のまち	大規模な都市開発が進んでいることを受け、「国内外で活躍する企業の集積の受け皿となる高質なオフィス環境等の整備が進んでいます。」と記載済。
DXへの取組が遅れている。素早く対応できるような補助金などの支援を考えていかなければいけない。	鴨田委員	反映	26	指針1 方向性①経営 基盤の強化	資金調達の円滑化として、「新時代に対応した区独自補助金制度を創設し、利用促進を図ります。」と記載済。
規制を撤廃するなどビジネスがしやすい環境づくりを行ってほしい。	小寺委員	その他	-	-	規制緩和は国や都と協議が必要な分野が多いため指針への記載はしませんが、事業者にもっと近い基礎的自治体として、要望や提案を行っていきます。
新しい価値だけでなく、経営基盤の強化もしっかり考えてほしい。	鴨田委員	反映	26	指針1 方向性①経営 基盤の強化	骨子案作成段階において、方向性①として追加記載済。
区内にある産業団体が行う交流会などを起業家がうまく活用できるように、区はPRや会場提供の協力をしてほしい。	阿部委員	新反映	27	指針1 方向性③あ らゆる人材へのスタート アップ支援	「区内産業団体が行うネットワーク支援への協力」を記載。
ビジサポに関しては一部予約で埋まっていてなかなか相談できないこともあるので枠を増やすなどしてほしい。	笠井委員	その他	-	-	指針の中では言及しませんが、まずは予約が取れない原因を把握するため相談実績を分析し、需要が高いメニューについては拡充を検討していきます。
<b>指針2 持続可能な商店街に向けた活性化支援</b>					
商店街の概念が難しくなっている。バーチャルとリアル両面に支援してほしい。	阿部委員	その他	-	-	商店街がHPを作成する中で、ECサイトなど商店街にあった取組の研究を行います。
区内施設でイベントをするだけでなく、区内起業をそこに誘致して販売促進の場につなげるのが良いのではないか。	原委員 河畑委員	その他	-	-	既に行っているファーマーズマーケットやMONOづくりメッセへの商店街ブース設置と併せて、他事業でも誘致できるか検討を進めます。
キャッシュレス決済導入支援を強化すべきではないか。	細田委員	反映	28	指針2 方向性①商店 街のにぎわい向上支援	来街者が利用しやすい商店街づくりへの支援として、「キャッシュレス化に取り組む事業への支援」と記載済。
区商連にはコンシェルジュがいてイベントをする際に手伝う人材がある。イベントは協力を得ないと難しいため、こういった人材の確保は必要になる。	加藤委員	反映	28	指針2 方向性①商店 街のにぎわい向上支援	商店街のにぎわいをもたらす事業への支援として、「若手や女性など新たな人材を活用した企画を支援」と記載済。
商店街同士の連携がないように思う。商店街同士が協力また触発しあうことが大切になる。	小寺委員 笠井委員	反映	28	指針2 方向性①商店 街のにぎわい向上支援	商店街のにぎわいをもたらす事業への支援として、「商店街同士の交流を促進」と記載済。
商店街組織は韓国にはなかった。商店街は外国人観光客にとっては、日本特有の文化として魅力を感じてくるのではないか。	笠井委員	反映	28	指針2 方向性①商店 街のにぎわい向上支援	来街者が利用しやすい商店街づくりへの支援として、「インバウンドに対応するための事業への支援」と記載済。
補助には限界がある。持続可能な観点から自走していくことができる大きな取組が必要ではないか。	郭会長	反映	29	指針2 方向性③安全 安心で持続可能な商店 街づくり	「商店街の維持・発展」に記載済
補助金だけでなく、能力開発や伴走支援、相談なども今後は必要になる。	羽生委員	反映	29	指針2 方向性③安全 安心で持続可能な商店 街づくり	「商店街の維持・発展」に記載済
人や商店街が連携することでお互いが紹介するなど来街者増加につながることもある。このような仕掛けを役所はやっていくべき。	小寺委員	反映	28	指針2 方向性①商店 街のにぎわい向上支援 方向性②地域連携によ るコミュニティ強化	「商店街のにぎわいをもたらす事業への支援」、「他団体との連携強化」に記載済。
地元にあるものさがし、実は素晴らしいものを見つけるには、外部の目を入れることが必要。地元の方だけでなく区内にある大学、企業なども巻き込んで取組を行うことで、新しい価値を見出すことができる。そこに行政のサポートの補助や人の手当てをしていくことが必要。	郭会長	反映	28	指針2 方向性②地域 連携によるコミュニ ティ強化	「他団体との連携強化」に記載済。
商店街をモール化するような商店街の形を考え直す抜本的な政策を考える必要がある。	遠藤委員	その他	-	-	他地域の先進的な取り組みを研究し、豊島区版の支援の在り方を研究します。
次世代の商店街像ということが分からない。模索する中で先進的な取り組みをヒントにしながらか明瞭化して、支援を検討してほしい。	阿部委員	新反映	29	指針2 方向性③商店 街の維持・発展	商店街の維持発展において、「先進的な取り組みを行う商店街の事例紹介」を記載。
区商連として商人祭りを実施しているが、内輪の人のみの参加に感じるのより多くの方に参加いただけるような取組を考えなければならない。	加藤委員	反映	29	指針2 方向性③安全 安心で持続可能な商店 街づくり	商店街の維持・発展において、「事例紹介を広く行う」と記載済。その中でより効果的な事業になるように研究を行う。
若手の商店街活動参加が消極的になっている理由や商店街活動が各店舗へ波及していない理由を研究していく必要がある。	岩田委員	その他	-	-	各商店街と意見交換をするなど引続き研究を行い、より参加しやすい支援などを検討してまいります。

委員意見	意見者	区分	頁	項目	反映内容
指針3 これからの産業を支える人材の育成と多様な働き方の推進					
アクティブシニアを活用することがとても重要。このことは大きな経済効果につながる。	遠藤委員	反映	30	指針3 方向性①中小企業における人材の確保	多様な労働力の活用として、アクティブシニアの活用について記載済。
シニア世代や子育て世帯を事業に活用できるような取組があると良いのではないかと。	岩田委員	反映 新反映	28 30	指針2 方向性①商店街のにぎわい向上支援 指針3 方向性①中小企業における人材の確保	商店街の人材確保として、「若手や女性など新たな人材を活用したイベントなどの事業を支援します」と記載済。 事業者の人材確保として、「能力・職務経験を持ちながら仕事を離れた子育て世帯を事業者が雇用していくための情報を庁内で連携して発信する。」と記載。
区内大学と中小企業をつなげていくことをやってほしい。	阿部委員	反映	30	指針3 方向性②人材の育成と事業承継	次世代の育成として、「区内大学などの教育機関と企業がつながり協働して事業を行う仕組み」と記載済。
観光客がリピーターとして何度も訪れるには、箱物ではなくそこで働く人の魅力が重要である。人材の育成に注力すべき。 ※指針4再掲	小寺委員				(指針4観光分野にて記載)
人的資本経営という人にとって投資していくかの視点が重要であり、中小企業にも浸透が必要。確保した人材・若者を定着させて企業が活性化していくという視点が入ると良い。	福田委員	新反映	30	指針3 方向性①中小企業における人材の確保	定着の推進として、「区内企業への就職や定着を支援するため、企業や働き方の魅力アップを図ることをテーマとしたセミナー情報の提供」と記載。
工芸品をふるさと納税の返礼品としてPR することは大切であり、こうしたことで若い人や外の人に興味を持ってもらうことが発展させるには大切。	河畑委員	反映	31	指針3 方向性④伝統工芸技術の承継と発信	「ふるさと納税の返礼品として工芸品をPR」と記載済。
人材確保には外国人労働者の雇用が課題になっている。労働者側の利益を守ることと併せて、雇う側のリスクを考えた支援もしていただきたい。	遠藤委員	新反映	31	指針3 方向性③職場環境の充実	「経営者が雇用に伴うリスク管理を適切に行い、積極的に職場の労働環境を整備する必要があります」と記載し、事業者の取り組みをサポートする内容に変更。
人材確保や事業承継といったこともビジサポの窓口で相談できるとより良い。	原委員	新反映	31	指針3 方向性②人材の育成と事業承継	「としまビジネスサポートセンターの窓口やホームページで周知するなど、情報発信を強化します」と記載。
少子高齢化が進み事業承継や人材育成といった問題が喫緊の課題となっている。単なる小規模のM&Aを進めるのではなく、豊島区の良さを持続させるために豊島区の企業と豊島区で起業したい方をマッチングしてほしい。	鴨田委員	新反映	31	指針3 方向性②人材の育成と事業承継	「豊島区で長年愛された個店の魅力を持続できるようなマッチングを支援します」と記載。
MONOづくりメッセで小学生に伝統工芸品を教えたように、小さな子どもたちに豊島区の歴史や地元の魅力を教える場を設けることや情報発信していくことが必要。豊島区の魅力をもっと知らせることが重要。	原委員	反映	31	指針3 方向性④伝統工芸技術の承継と発信	伝統工芸技術について、「体験教室や伝統工芸等のイベントを通じて次世代のものづくりへの関心を喚起するとともに」と記載済。
デジタル化による人手不足解消といったものは中小企業へ具体例を示し、今遅れている中小企業のデジタル化と併せて推進してほしい。	鴨田委員	新反映	30	指針3 方向性①中小企業における人材の確保	デジタル化やAIの活用推進について、「DXやAIを活用した時代に適した経営手法を取り入れた”スマートシティ”を目指します。」と記載。
指針4 観光振興による地域社会・経済の好循環化					
海外は、アニメの関心が高い。これからアニメイベントは注目をあつめるのではないかと。	阿部委員	新反映	32	指針4 方向性①まちの魅力の活用推進	「東京都のアニメ拠点「アニメ東京ステーション」や関係団体・企業との連携を強化し、マンガ・アニメ等を活用した観光事業を推進」と記載。
今、観光需要が回復してきている中で、旧態に戻るのではなく様々な外的要因の中でも生き残れる地域にしていくことが大きな焦点になる。	羽生委員	新反映	32	指針4 方向性①まちの魅力の活用推進	「地域の魅力発見・発信」の項目に、区内の観光資源の魅力を高め、遠方からの観光客に限らず区民も自分のまちを楽しむような仕組みづくりについて記載。
マイクロツーリズムのような、区内にいる方が区内でどうやって消費していくかも考えなければならない。	羽生委員	新反映	32	指針4 方向性①まちの魅力の活用推進	同上
観光客がリピーターとして何度も訪れるには、箱物ではなくそこで働く人の魅力が重要である。人材の育成に注力すべき。	小寺委員	その他	-	-	文化観光課と内容調整中のため、次回お示しいたします。
地方との交流について、豊島区のような川下自治体はもっと提供することに力を入れてほしい。提供を続けていく中で地方の方が豊島区を紹介、消費してくれるようになるのではないかと。お金だけでなく人のつながりや場所などの提供もしてほしいのではないかと。	小寺委員	新反映	33	指針4 方向性③産業と観光の融合による新たな価値の創造	「区内銘品のブランディング」の項目に、交流都市との連携による商品開発などの取り組み支援や、ファーマーズマーケットなどのテストマーケティングの場の提供について記載。
情報発信を誰に魅力を届けて、誰に来てほしいというターゲットとマーケティングにミスマッチが生じているのではないかと。	郭会長	その他	-	-	指針4 方向性①において情報発信の強化について触れていますが、具体的な手法については「豊島区観光振興プラン」にて記載します。



委員意見	意見者	区分	頁	項目	反映内容
指針5 未来へつながる消費者市民社会の形成					
トラブル回避や啓発といったものだけでなく、楽しい消費につながる書き方にしてほしい。	羽生委員	その他	-	-	「楽しい消費」というキーワード自体は記載していませんが、トラブル回避や啓発を通じて、安心して消費活動を行える基盤整備を進めていきます。
指針に入れるのであれば、消費者への啓発事業だけでなく、事業者に対してもお客さんに対する知識や電子取引の教育なども施策に入れて両者が対等な立場となるような書き方がよい。	阿部委員	反映	35	指針5 方向性①サステナブル経営の推進	事業者に向けた啓発と情報発信について記載済。
産業振興指針に書いていくなら、豊島区では変な商売はできないよ、そのために豊島区では消費者への啓発や相談業務に力を入れているという方がよい。	羽生委員	反映	35	指針5 方向性②消費者の権利とつかう責任の啓発	消費者への啓発や相談業務の強化・充実を明記することで、健全な市場形成を進めるという視点から記載済。
消費者と生産者は相対する関係にあるが、消費者が生産者を育て、生産者が消費者により良いものを提供していくことにつながる。生産者もただ安いものを提供することではなく、良いものを適正価格で販売することができ、この中で両者の信頼ができるのではないかと思う。	郭会長	新反映	35	指針5 方向性①サステナブル経営の推進	「消費者と事業者がお互いを信頼し手を取り合いながら発展していく」と記載。
その他					
新しいことだけでなく今あるリソースをどう活用していくかはとても意義がある。今あるリソースをよりうまく活用してほしい。	志村委員	その他	-	-	指針の中で具体的な明記はいたしません、全体に横断する根柢の理念として考慮しながら各分野の方向性を検討します。
様々な取り組みや5つ出ている方向性のそれぞれをどう有機的にリンクさせているかがとても大事になる。	福田委員	新反映	36	第5章 1 指針の推進体制	「各指針はそれぞれが相互に影響し合うことから、区役所における庁内連携をより一層強化し、事業の実現を目指します。」と記載。
現指針の基本理念の中に「人がつながる」という言葉があるように、コミュニティを強化しコラボレーションを増やし学びをシェアできるような仕掛けやプログラムを行政ができると区のオリジナリティにつながるのではないかと。	福田委員	反映	27 28 30	指針1 方向性③ 指針2 方向性② 指針3 方向性②	コミュニティを強化し、まち全体で産業を支える仕組みづくりは大変重要な要素。起業支援、商店街活性化支援、次世代の育成などの各分野において、様々な主体の連携による新たな事業展開について記載済。
豊島区の人の流れの中で、単なる通過駅としてではなく、いかに街に滞在していただけるかを考えた街づくりが必要。	阿部委員	新反映	32	指針4 方向性②誰もが観光を楽しめる環境の整備	「人が主役のまちづくりを行い、回遊性を高めることで、ウォーカーブル都市・池袋の実現を目指します。」と記載し、ウォーカーブル都市・池袋について詳細をコラムに記載。
都市基盤づくりについてが、新指針に盛り込まれていないことは残念。その中で、池袋のバリアフリーはまだまだ物足りない。街に人が流れないと街は活性化しないと考えるとバリアフリーの改善は重要になる。	細田委員 原田委員 郭会長	新反映	32	指針4 方向性②誰もが観光を楽しめる環境の整備	ユニバーサルツーリズムの推進に関連づけ、「池袋駅地区バリアフリー基本構想」に基づいた環境整備について記載。
第4章以降の区的意思を示す部分に10年後の消費者動向や消費者志向がどうなるといったことを記載するなどして、区民が読んだときに先の商売が明るくて継続したいと思わせるようなことを盛り込んだ指針が書かれるといい。	小寺委員	その他	-	-	消費者動向の将来予測については、統計上困難なため、第4章において今後区が目指していく将来像の中に明るい未来につながる施策を盛り込みました。
委員の発言をまとめると「商店街」と「人材」といったキーワードが多く出てきた。関心が高いことを考えるとすべての項目を対等に扱うのではなく、そういったところは深掘してもいいのではないかと。	郭会長	その他	-	-	産業団体ヒアリングにおいて、「商店街」と「人材」については重点的に意見交換を行い、最新の情報をもとに施策の再整理を行いました。今後の審議会での意見も踏まえ、引き続き指針に反映してまいります。
産業振興指針を作成した後に、抜粋版を作成して広報に載せるなど周知することが作るより重要。	志村委員	新反映		第5章 1 指針の推進体制	「区民、事業者・商店会のほか、教育機関・金融機関・産業経済団体へ広く周知」と記載済。
指針を広報していくことを考えるとしまテレビを活用するなど、幅広く区民へ知らせることがあっても良い。	郭会長	新反映		第5章 1 指針の推進体制	同上